

輝 ねむろ

We Love Nemuro!



将棋の魅力伝えたい

「将棋に興味がある方は、月に1回から2回程度、総合文化会館において、将棋を指していただきますので、気軽に足を運んでください。」と話すのは、北海道将棋連盟根室支部に所属している畠山重久さんです。

将棋は、5歳のとき、祖父に駒の動かし方を習ったのがきっかけ。当時、根室支部にも「子供将棋道場」があり、小学2年生から中学3年生まで通い、仲間同士で切磋琢磨し、将棋の楽しさを覚えたそうです。

畠山さんは、「将棋は、楽しさを教えてくれる一方で、自分の指した一手で勝敗を分

けることもあるので、集中力や忍耐力が必要。対局では、大人、子どもに関係なく、礼に始まり、礼に終わることで、礼儀作法や相手を敬う心を養うことができます。」と熱く語ります。

昨今は、ゲーム機の普及などで将棋離れになっていますが、子どもたちには将棋の楽しさを知ってほしいと話し、「毎年、11月に開かれる『子供将棋大会』にぜひ参加してください。」と呼びかける畠山さん。

今後も、日本の伝統である将棋の普及と対局マナーをおして、青少年の健全と育成を図ってくれることでしょう。



一手、一手に集中する根室支部会員たち

profile はたけ やま しげ ひさ 畠山重久さん

社団法人北海道将棋連盟根室支部会員 段位：二段

1976年根室生まれ。平成10年から榊畠山菓子店に勤務。同年、社団法人北海道将棋連盟根室支部加入、道東王位戦で2度の優勝経験あり、全道大会はベスト4まで行った腕前。社団法人根室青年会議所に平成19年1月に入会、平成25年1月から理事長を務める。趣味読書。

千島桜を望む窓

市長室のカレンダー

4月29日、安倍晋三首相とプーチン・ロシア大統領の「日ロ首脳会談」が行われました。同日夜、市役所で長谷川市長、千島齒舞諸島居住者連盟鈴木寛和副理事長と、同連盟宮谷内亮一 根室支部長が、10年ぶりとなる首脳会談の様子をテレビで見守りました。

首脳会談終了後に行なわれた記者会見の中で、長谷川市長は、「10年ぶりに開催となった日ロ首脳会談が今終わり、停滞していた平和条約交渉の再スタートを確認したということは、一歩または三歩前進したのではないかと感じている。今後は、両首脳がリーダーシップを発揮し、さまざまな部分で平和条約締結に向けた作業を加速的に推進していただき、来年にプーチン大統領が訪日する際、領土問題が解決するよう力を尽くしてほしい。」と話しました。

今回の首脳会談において、第二次世界大戦後67年を経て、日ロ間の平和条約が締結されていない状態が異常であること、両首脳の考えは一致しており、今後、両国間の北方領土交渉の「再スタート」を期待したいとコメント。

